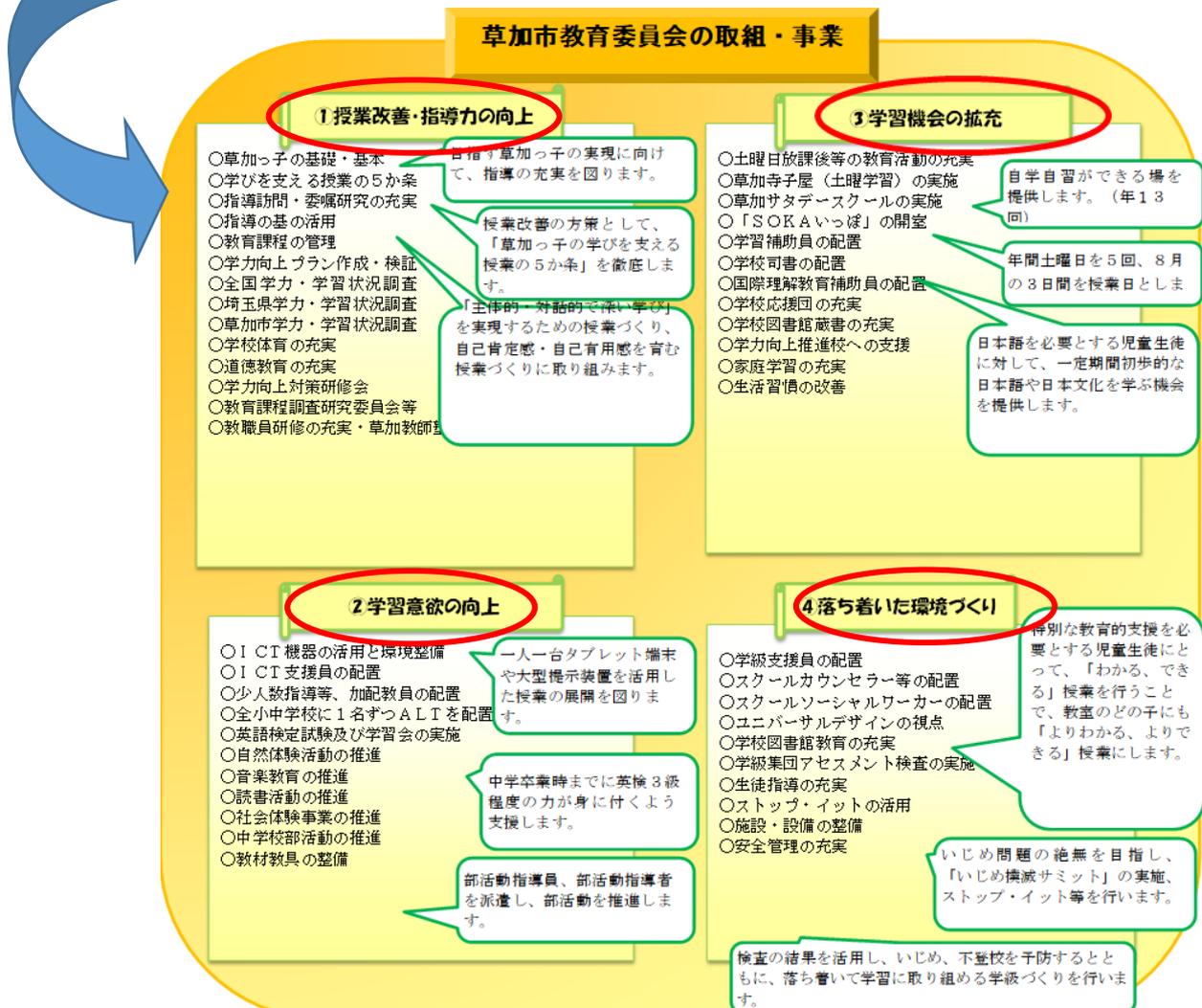
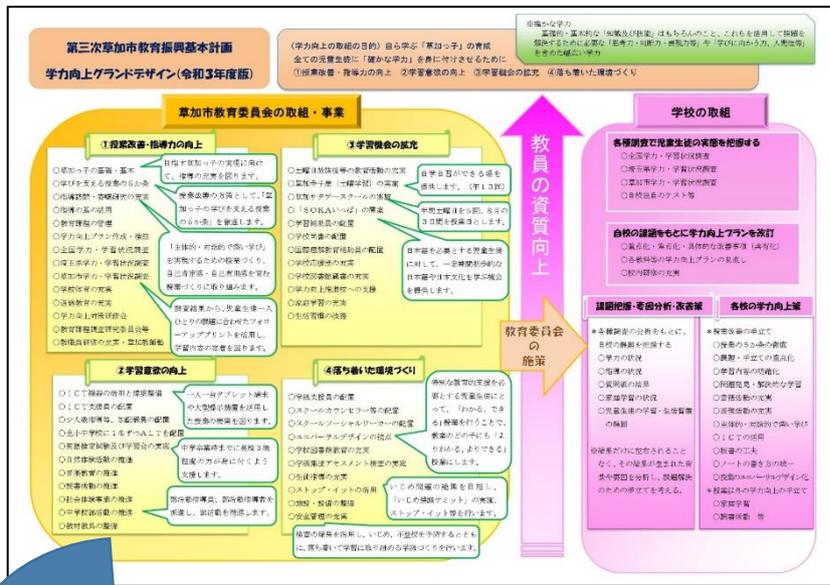


# 教育委員会の取組

第三次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」(令和2年度-令和5年度)に基づき、学力向上グランドデザインを作成しています。その中で埼玉県学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の分析結果等を踏まえ、次の4つの柱を設けて取り組んでいます。



## 1 授業改善・指導力の向上

- 草加っ子の基礎・基本
- 学びを支える授業の5か条
- 指導時間・委嘱研究の充実
- 指導の基の活用
- 教育課程の管理
- 学力向上プラン作成・検証
- 全国学力・学習状況調査
- 埼玉県学力・学習状況調査
- 草加市学力・学習状況調査
- 学校体育の充実
- 道徳教育の充実
- 学力向上対策研修会
- 教育課程調査研究委員会等
- 教職員研修の充実・草加教師塾

目指す草加っ子の実現に向けて、指導の充実を図ります。

授業改善の方策として、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を徹底します。

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくり、自己肯定感・自己有用感を育む授業づくりに取り組みます。

## 3 学習機会の拡充

- 土曜日放課後の教育活動の充実
- 草加寺子屋(土曜学習)の実施
- 草加サタデースクールの実施
- 「SOKAいっほ」の開室
- 学習補助員の配置
- 学校司書の配置
- 国際理解教育補助員の配置
- 学校応援団の充実
- 学校図書館蔵書の充実
- 学力向上推進校への支援
- 家庭学習の充実
- 生活習慣の改善

自学自習ができる場を提供します。(年13回)

年間土曜日を5回、8月の3日間を授業日とします。

日本語を必要とする児童生徒に対して、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供します。

## 2 学習意欲の向上

- ICT機器の活用と環境整備
- ICT支援員の配置
- 少人数指導等、加配教員の配置
- 全小中学校に1名ずつALTを配置
- 英語検定試験及び学習会の実施
- 自然体験活動の推進
- 音楽教育の推進
- 読書活動の推進
- 社会体験事業の推進
- 中学校部活動の推進
- 教材教具の整備

一人一台タブレット端末や大型提示装置を活用した授業の展開を図ります。

中学卒業時までに英検3級程度の力が身に付くよう支援します。

部活動指導員、部活動指導者を派遣し、部活動を推進します。

## 4 落ち着いた環境づくり

- 学級支援員の配置
- スクールカウンセラー等の配置
- スクールソーシャルワーカーの配置
- ユニバーサルデザインの視点
- 学校図書館教育の充実
- 学級集団アセスメント検査の実施
- 生徒指導の充実
- ストップ・イットの活用
- 施設・設備の整備
- 安全管理の充実

特別な教育的支援を必要とする児童生徒にとって、「わかる、できる」授業を行うことで、教室のどの子にも「よりわかる、よりできる」授業にします。

いじめ問題の絶無を目指し、「いじめ撲滅サミット」の実施、ストップ・イット等を行います。

検査の結果を活用し、いじめ、不登校を予防するとともに、落ち着いた学習に取り組める学級づくりを行います。

# 1 授業改善・指導力の向上

## (1) 「指導の基」の活用

草加の教育の基本理念や教科等の授業改善ポイントなどを示した「指導の基」を全教員に配布し、日々の授業で活用しています。また、指導訪問や要請訪問、校内研修等でも活用することで授業改善及び教員の指導力の向上を図っています。



**国語科 授業改善に向けて**

【草加市の実施】

各種調査結果及び学校訪問等から  
小学校：授業の場面、事象と関係、文章の区別、結論付けを明確にして、読解文を教んだら、自分の考えを書いたり読んだりする必要がある。  
物語を読む際は、基本的な構成要素を、筋道を基に理解した上で、想像を豊かにしながら読む必要がある。  
中学校：自分の立場及び伝えたい事実や事柄、根拠を明確にして、文章や筋の構成を工夫して書くことや、相手に分かりやすいように語句を選択して話すことができるようにする必要がある。

改善のポイント

- ① どのような言語能力を身に付けさせるかを明確にする
- ② 「言語能力を育成するための言語活動を設定する」
- ③ 「言語能力の育成のための課題の提示、発問、まとめ、振り返りを行う」
- ④ 「身に付けた言語能力が日常生活や社会生活で生かせる場面を意図的に設定し、系統的に指導を積み重ねる」

【課題解決のための授業改善の視点と具体的手法】

**1 実用的な文章を意識した書く活動**

- ・ 目的や意図を明確にして、書く事柄を選び、書きたいことの中核や自分の思いが伝わるように書くことを指導する。
- ・ 書く活動を選択肢だけでなく、各教科等に意図的、計画的に設定する。
- ・ 伝統的な言語文化や国語の弊習に関する事項と関連させ、練習の語や語句、文法事項等については、日常生活や社会生活で使用する文や文章の中で漢語に使うことができるように指導する。

**2 交流等を通して、自分の考えを広げたり深めたりする活動**

- ・ 友達との話し合いから自分の意見をより良いものに推敲したり、書き加えたりすることができるように指導する。
- ・ 日常の書き物において、筋道と自分の体験や他者の解釈を結び付けたり、他の作品と比べてたりして読むことを指導する。
- ・ 交換する際は、自分の経験や考えなどの共通点や相違点、共感するところや自分の考えに取り入れたいところ、改善点などを中心に話したり聞いたりし、相互に意見が交換されるように指導する。

**3 文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む活動**

- ・ 何のために、何を知らたいのか、どのような情報が必要なのか、という目的を明確にした上で、全体の構成を把握しながら読むことができるように指導する。
- ・ 必要な筋道を推し、他の部分に書かれている筋道と比較したり、図表等と関連付けて情報を把握したり、自分の知識や経験、考えなどと関係付けたりしながら自分の考えをまとめることができるように指導する。

**授業改善リーフレット2巻**

**学びの足**

No. 37 (令和3年11月) 発行  
草加市教育委員会  
www.city.kusaka.lg.jp  
koushugaku@city.kusaka.lg.jp

\*\*\* 「指導と評価の一体化」で授業改善の足 \*\*\*  
～ 「小・中学校 道徳科」編  
「登場人物に関する自己読解と中心の学習」～

※ 今回、「指導と評価の一体化」の観点から、「登場人物に関する自己読解と中心の学習」について紹介しています。

「登場人物に関する自己読解と中心の学習」とは、どのような活動ですか？

登場人物に関する自己読解とは、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。

登場人物に関する自己読解と中心の学習とは、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。

「登場人物に関する自己読解と中心の学習」の具体的な活動は、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。

「登場人物に関する自己読解と中心の学習」の具体的な活動は、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。

「登場人物に関する自己読解と中心の学習」(P.17-21)

教科	学習目標	学習内容	指導のポイント
国語	登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。	登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。	登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。
道徳	登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。	登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。	登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。

【授業改善のポイント】

- ・ 登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。
- ・ 登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。
- ・ 登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や態度、登場人物の役割や関係性などを、登場人物の視点から読み取ることを指します。

## (2) 草加っ子の基礎・基本

**草加っ子の基礎・基本**  
～笑顔かがやく草加っ子～

【知】の基礎・基本  
＜じっくり聞いて じっくり考え 進んで学習＞

- 人の話をしっかり聞きます
- 自分の考えをもち、伝えます
- 興味・関心をもち、進んで学習します
- 進んで読書します
- 家庭学習をします

【徳】の基礎・基本  
＜礼を正し 場を清め 時を守る＞

- 自分や友達を大切にします
- ありがとう、ごめんなさいを素直に言います
- あいさつや返事、ていねいな言葉づかいをします
- 身の回りの整理整頓をします
- 登下校や授業の始まりなどの時刻を守ります

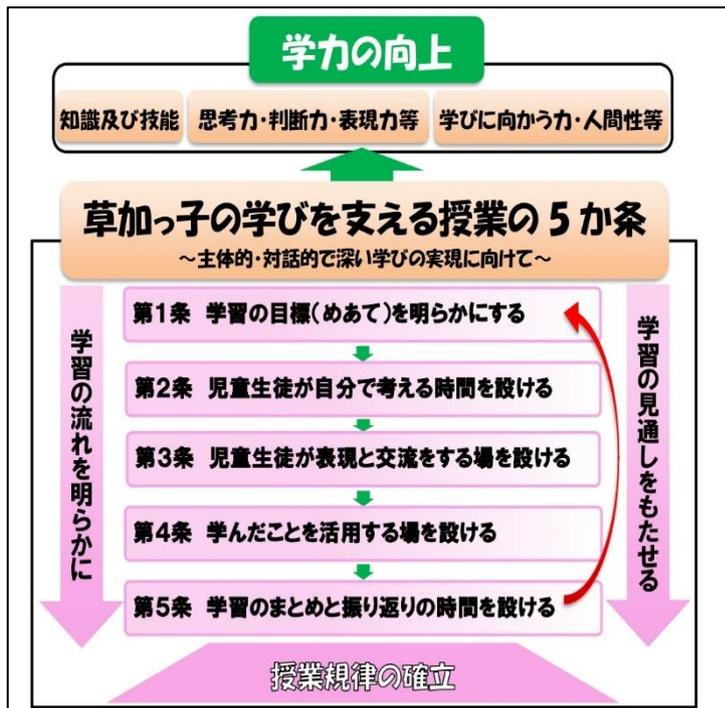
【体】の基礎・基本  
＜元気に運動 しっかり食事 くつすり睡眠＞

- 力いっぱい運動をします
- 「早寝早起き朝ごはん」をします
- 交通ルールやマナーを守ります
- テレビやゲーム、スマホなどの使い方に気を付けます
- ものごとに粘り強く取り組みます

「草加っ子の基礎・基本」は、幼保小中を一貫した教育で掲げる「目指す草加っ子15歳の姿」の基盤となる「できるようになってほしいこと」と関連を図り、知・徳・体の基礎・基本をさらに5つずつに細分化し具体的に示しています。

全てをバランスよく指導していくことを目指しますが、特に指導課が進める研究である「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」「主体的・対話的な深い学びを実現するための授業づくり」に関連するものを中心に指導訪問などで指導・支援しています。

### (3) 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」



草加っ子に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力を育成するために、具体的な授業改善の方策として、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」という授業に取り入れてほしい手立ての徹底を図っています。

発達段階や教科領域の特性に即しながら、草加市の全ての教員がこの5か条を意識した授業を行うことで、児童生徒の学力向上及び指導力向上に向けた授業改善を図っています。

また、指導案の本時の展開に5か条を明記するなどの活用についても、確実に行うように徹底しています。

### (4) 草加市学力・学習状況調査

児童生徒一人ひとりの達成状況・課題を把握し、各学年における学習内容を当該年度内に確実に定着をさせることを目的に、草加市独自で「草加市学力・学習状況調査」を実施しています。小学校3～6年生は国語・算数、中学校1・2年生は、国語・数学・英語、小中学校全学年で質問紙調査を実施しています。令和3年度からは、小学校5・6年生及び中学校1・2年生を対象に、理科の学力調査も加えて実施する予定です。

今年度は、12月に調査を実施し、2月上旬に結果資料を返却する予定です。2月上旬に開催する第3回学力向上対策研修会では、調査結果等の活用方法について周知するとともに、課題解決に向けて指導助言、情報提供を行い、当該年度に身に付けるべき学習内容の確実な定着を図ります。

## (5) 学力向上対策研修会

市内小中学校の校長及び学力向上担当教員等を対象に「学力向上対策研修会」を年3回実施します。

### 10月：第1回学力向上対策研修会

県教育局義務教育指導課の指導主事を講師に埼玉県学力・学習状況調査結果の分析や活用の仕方について研修します。調査結果が送付された後に実施することで、自校の分析や学力向上に向けての取組を検討する機会とします。

### 11月：第2回学力向上対策研修会

研修会を全体会と分科会に分け、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の分析結果について周知します。特に、分科会は、国語科、算数・数学科、英語科の各教科主任を対象とし、結果を踏まえた授業改善の具体について協議します。

### 2月：第3回学力向上対策研修会

草加市学力・学習状況調査の調査結果等の活用方法について周知するとともに、課題解決に向けて指導助言、情報提供を行い、当該年度に身に付けるべき学習内容の確実な定着を図ります。

### 【コバトン問題集及び復習シート等の活用について】

埼玉県教育委員会が発行している「コバトン問題集」について、各校の状況に応じて、補習教材や補助教材として積極的な活用が図られるよう情報提供しています。

また、埼玉県教育委員会が発行している「復習シート」を草加市のホームページに掲載し、学校だけではなく各家庭に周知することで、家庭学習の推進を図っています。

今後も、学力向上対策研修会を通して、草加市全体の授業改善のポイント等を明確に示し、学力向上担当教員が各校の推進者として、「コバトン問題集」や「復習シート」などを確実に活用することを徹底し、児童生徒の更なる学力向上を目指します。



## (6) 指導訪問・委嘱研究の充実

### ①指導訪問について

#### 《学校訪問》

市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、市内全小中学校を訪問して全ての教員の授業を参観し、「指導の基」を活用しながら、草加っ子の基礎・基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について指導しています。

#### 《要請訪問》

指導主事及び学力向上担当指導員が、各校からの要請による校内授業研究会や各教科の市教育研究会の授業研究会等で、教員の指導力向上を目的とした指導をしています。

今後も、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を受けて、各教科担当の指導主事による教員への授業力向上や授業改善を目指した指導及び支援を継続的に行い、児童生徒の学力向上を目指します。

さらに、教育委員会のリーダーシップのもと、各校の校内研修等での授業研究会や教育委員会主催の各種研修会等を通して人材育成に取り組むとともに、指導力のある教員を活用した授業力を高める取組を推進し、教員の資質向上を図っていきます。

### ②研究委嘱について

児童生徒がこれからの時代を見据えた資質・能力を身に付けられるよう、また、目指す「草加っ子」（15歳の姿）の実現のため、次のとおり研究委嘱等を行い、それぞれの学校へ指導主事が指導助言や支援をしています。

☆令和3年度 埼玉県学校安全総合支援事業（埼玉県教育委員会委託）

	学校名	研究領域
1	新里小学校	交通安全、災害安全
	両新田小学校	
	両新田中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 質の高い学校安全の取組を推進し、児童生徒一人ひとりが自分の身を守ることができるように知識・理解を深めます。	

☆令和2 令和3年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「生きるカプラン」

	学校名	研究領域
1	高砂小学校	自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり
	瀬崎小学校	
	瀬崎中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して「確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる児童生徒の育成」を目指します。	
2	川柳小学校	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
	八幡北小学校	
	青柳中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 学級経営を基盤として「学ぶ喜びを味わわせる授業の創造」を目指します。	

☆令和3 令和4年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「生きるカプラン」

	学校名	研究領域
1	新田小学校	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
	長栄小学校	
	新田中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 人・地域・自然とのつながり15歳の姿・心をはぐくむ実践を通して「学びの生活化・社会化」を目指します。	
2	新栄小学校	自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり
	清門小学校	
	新栄中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 主体的に学びに向かう力の育成を通して「夢や希望を持ち、学び続ける子ども育成」を目指します。	
3	稲荷小学校	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
	松江中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 各教科の指導と評価の一体化を通して「自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成」を目指します。	

☆令和3年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「読書活動推進プラン」

	学校名	研究領域
1	草加小学校	読書活動の充実
	西町小学校	
	草加中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 読書環境の整備・読書習慣に関する取組を通して「多様な読書体験から、自ら読書に親しむ児童生徒の育成」を目指します。	
2	八幡小学校	読書活動の充実
	青柳小学校	
	川柳中学校	
	<b>【研究の目的】</b> 子どもが行きたくなる学校図書館運営を通して「自ら本に手を伸ばし、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を目指します。	

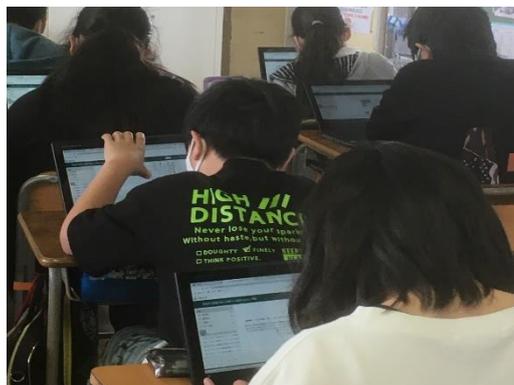
## 2 学習意欲の向上

### (1) ICT機器の活用と環境整備

令和2年度に加速度的にGIGAスクール構想が進み、市内32校全ての児童生徒にタブレット端末が配備されました。

今年度から本格的な運用が始まり、児童生徒の学校での利活用だけではなく、感染拡大に伴う休校や短縮授業などの非常時に持ち帰ってのオンライン学習など、タブレット端末を活用した学習が進んでいます。

また、2学期からは、市内32校の全普通教室に大型提示装置を設置し、効果的な活用が進んでいます。



## (2) 少人数指導等、加配教員の配置

学校教育補助員等による支援の充実を図っています。

### ☆学習指導補助員・学習補助員（50名）

一人ひとりの児童生徒に基礎的な知識・技能を身に付けさせるために配置し、一人ひとりのニーズに合った支援を行っています。

### ☆学校司書（32名）

児童生徒の学校図書館利用の充実を図るために配置し、読書活動の充実、読書量の増加を図るための支援を行っています。

### ☆日本語指導支援員（1名）

「SOKAいっば」において日本語指導を必要としている児童生徒のために配置し、日本に来て間もない児童生徒への日本語理解の支援を行っています。

### ☆国際理解教育補助員（8名）

各小中学校において日本語指導を必要としている児童生徒にきめ細かい日本語支援を行うために配置し、日本語の語彙力の向上、日本の文化等についての学びを支援しています。

### ☆学級支援員（30名）

落ち着いた学習環境を整えるために配置し、支援を必要とする児童への支援を行っています。

### ☆語学指導助手（ALT）（32名）

外国語活動・外国語・英語教育の充実のために配置し、英語力の向上を図っています。

## 3 学習機会の充実

### (1) 英語検定試験及び学習会の実施

英語検定推進事業では、国の目標である卒業までに英語検定3級程度以上の英語力を身に付けることを目標として、3級受検料を上限に、市立中学校に通う3年生全生徒を対象に補助を行っています。また、平成28年度より獨協大学との教育支援連携協定に基づき、獨協大学の学生による英語検定3級合格を目指した学習会を実施しております。今年度の学習会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、獨協大学生による動画作成を行い、希望者に配信しました。



令和2年度中学校3年生の英語検定3級程度以上の取得率は約54%（令和2年12月現在）となり、国の目標値（50%）を達成する結果となっております。

## (2) 読書活動の充実

平成30年に草加市子ども読書活動推進計画（平成30年度—令和5年度）が策定され、子どもの読書活動を横断的かつ包括的に推進する体制を整備し、基本理念として掲げる「草加で育つ全ての子どもたちが、いつまでも心に残る本との出会いを通して、『生きる力』を身に付けること」を目指しています。

市内全小中学校に司書教諭及び学校司書を配置しています。また、司書教諭等を対象に、学校図書館のより有効な運営及び活用について理解を深め、児童生徒の読書活動を推進するための研修会を実施します。

読書活動推進プランの研究を6校に委嘱し、日頃の読書活動の充実を始め、中央図書館主催の「ビブリオバトル～草加の陣～」への参加及び研究成果のあった取組を発表する研修会を司書教諭等を対象とした研究会と併せて開催し、その実践を市内に広めます。

## 4 落ち着いた環境づくり

### (1) ユニバーサルデザインの視点

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒を含め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行うため、授業にユニバーサルデザインの視点を取り入れる方策についての研修会を11月に実施します。また、研修及び実践を進める中で、教室の全ての児童生徒にとって分かりやすい授業になるように授業改善を行います。

### (2) 学級集団アセスメント検査の実施

学級集団に対する児童生徒の満足度や学級の状態を、質問紙法による検査を実施し、その検査結果を分析することで、いじめや不登校の早期発見や予防のための手立てとして役立つことを目的として、小学校第5学年及び中学校第1学年を対象に実施しています。

実施に当たっては、教頭及び担当教員対象の研修会を開催し、検査の目的や内容、効果的な活用について周知しています。

### (3) 「STOP i t（ストップイット）」の活用

いじめの早期発見・早期対応を図り、学校と教育委員会が協力して、いじめの解決に向けて取り組むために、より多くの生徒のSOSに対応する1つの手段として、SNSによる報告・相談アプリ「ストップイット」を中学生対象に導入しています。



導入に当たっては、中学校第1学年を対象に、「脱・いじめ傍観者」をテーマとした授業を実施するとともに、匿名で報告・相談できる手段の一つとしてストップイットアプリの登録や活用方法を周知しています。